



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <https://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 藤川 俊明 TEL 011-864-1111

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	43,819	0.8	405	60.3	517	45.9	313	62.3
2019年3月期第2四半期	43,450	1.9	252	△26.7	354	△17.1	193	△9.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 270百万円 (51.7%) 2019年3月期第2四半期 178百万円 (△36.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	20.85	-
2019年3月期第2四半期	12.84	-

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	45,542	13,204	28.7
2019年3月期	42,513	13,023	30.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,069百万円 2019年3月期 12,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	6.00	6.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	0.2	950	2.8	1,160	0.3	650	△15.1	43.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	16,694,496株	2019年3月期	16,694,496株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,665,062株	2019年3月期	1,664,968株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	15,029,463株	2019年3月期2Q	15,029,621株

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用所得環境を背景に個人消費が緩やかに回復したことに加え、企業収益の好調に伴い設備投資が底堅く推移したものの、海外経済の減速により輸出が減少したことなどから、景気は停滞色を強めています。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、公共投資が2018年度補正予算の執行本格化に伴い回復し、設備投資も人手不足や設備老朽化への需要を中心に拡大しました。

一方、持家が10月の消費税増税前の駆け込み需要により増加したものの貸家は需要一巡の影響により減少したことから住宅投資が落ち込んだことに加えて、労務費や建設資材価格の高騰もあり、厳しい経営環境となりました。

このような環境において当社グループは、顧客獲得に向けて営業力の強化と施工体制の拡充を推進したほか、非住宅部門への積極的な営業も展開いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高438億19百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は4億5百万円(同60.3%増)、経常利益は5億17百万円(同45.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億13百万円(同62.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

住宅投資の減少などから売上高は302億99百万円(前年同期比0.2%減)、セグメント利益は4億29百万円(同28.5%増)となりました。

建設工事

売上高は113億45百万円(同3.9%増)、セグメント利益は1億97百万円(同44.1%増)となりました。

資材運送

売上高は19億48百万円(同0.5%減)、セグメント利益は1億55百万円(同11.3%減)となりました。

その他

売上高は2億25百万円(同3.9%増)、セグメント利益は75百万円(同2.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比30億29百万円増加して455億42百万円となりました。流動資産は同31億82百万円増加して345億23百万円、固定資産は同1億53百万円減少して110億19百万円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金や未成工事支出金の増加によるものであります。固定資産の減少の主なものは、有形固定資産の建物及び構築物の償却による減少や無形固定資産ののれんの償却によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同83百万円減少して77億6百万円となりました。無形固定資産は、同74百万円減少して4億12百万円となりました。投資その他の資産は、同5百万円増加して29億円となりました。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比28億49百万円増加して323億38百万円となりました。流動負債は、同30億45百万円増加して284億92百万円、固定負債は同1億95百万円減少して38億46百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比1億80百万円増加して132億4百万円となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.3%から28.7%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,110	4,946
受取手形及び売掛金	20,363	22,973
商品及び製品	416	511
販売用不動産	1,001	1,201
未成工事支出金	2,209	4,406
原材料及び貯蔵品	55	72
その他	266	489
貸倒引当金	△82	△77
流動資産合計	31,341	34,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,597	3,498
土地	3,313	3,330
その他(純額)	878	877
有形固定資産合計	7,790	7,706
無形固定資産		
のれん	312	243
その他	174	168
無形固定資産合計	487	412
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	212	214
その他	2,819	2,823
貸倒引当金	△137	△137
投資その他の資産合計	2,894	2,900
固定資産合計	11,172	11,019
資産合計	42,513	45,542
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,148	15,752
電子記録債務	7,154	7,016
短期借入金	2,880	1,930
1年内返済予定の長期借入金	290	290
未払法人税等	280	210
賞与引当金	220	301
完成工事補償引当金	33	33
その他	2,438	2,956
流動負債合計	25,446	28,492
固定負債		
長期借入金	2,286	2,141
退職給付に係る負債	85	90
資産除去債務	3	3
厚生年金基金解散損失引当金	224	224
その他	1,442	1,386
固定負債合計	4,042	3,846
負債合計	29,489	32,338

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	326	326
利益剰余金	12,384	12,607
自己株式	△446	△446
株主資本合計	12,680	12,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	176
退職給付に係る調整累計額	△12	△11
その他の包括利益累計額合計	209	165
非支配株主持分	133	135
純資産合計	13,023	13,204
負債純資産合計	42,513	45,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	43,450	43,819
売上原価	39,643	39,807
売上総利益	3,806	4,011
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,575	1,579
その他	1,978	2,026
販売費及び一般管理費合計	3,553	3,605
営業利益	252	405
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	25	23
持分法による投資利益	18	19
雑収入	90	92
営業外収益合計	151	150
営業外費用		
支払利息	33	32
債権売却損	10	0
雑損失	6	5
営業外費用合計	49	38
経常利益	354	517
特別利益		
固定資産売却益	193	21
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	83	—
特別利益合計	276	22
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	107	0
固定資産圧縮損	82	—
投資有価証券評価損	—	0
投資有価証券清算損	—	4
特別損失合計	189	5
税金等調整前四半期純利益	441	533
法人税等	245	218
四半期純利益	196	314
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	313

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	196	314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△46
退職給付に係る調整額	6	1
その他の包括利益合計	△18	△44
四半期包括利益	178	270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174	268
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	441	533
減価償却費	207	216
のれん償却額	69	69
受取利息及び受取配当金	△42	△38
支払利息	43	33
持分法による投資損益(△は益)	△18	△19
補助金収入	△83	—
投資有価証券清算損益(△は益)	—	4
有形固定資産除売却損益(△は益)	△85	△19
固定資産圧縮損	82	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,497	△2,608
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,890	△2,508
その他の資産の増減額(△は増加)	△35	△93
仕入債務の増減額(△は減少)	2,747	3,466
未成工事受入金の増減額(△は減少)	720	1,176
その他の負債の増減額(△は減少)	△139	△314
その他	311	△409
小計	829	△514
利息及び配当金の受取額	42	38
利息の支払額	△43	△33
法人税等の支払額	△189	△308
持分法適用会社からの配当金の受取額	5	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	645	△812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△309	△113
固定資産の売却による収入	231	44
固定資産の除却による支出	△107	—
投資有価証券の取得による支出	△2	△6
投資有価証券の売却による収入	—	1
投資有価証券の清算による収入	—	5
貸付けによる支出	△128	△138
貸付金の回収による収入	111	91
補助金の受取額	83	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△950	△950
長期借入金の返済による支出	△155	△145
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△15	—
配当金の支払額	△90	△90
非支配株主への配当金の支払額	△0	—
リース債務の返済による支出	△49	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,261	△1,236
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△737	△2,163
現金及び現金同等物の期首残高	6,402	7,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,664	4,931

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,351	10,923	1,957	43,233	216	43,450	—	43,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	566	315	330	1,211	41	1,253	△1,253	—
計	30,918	11,239	2,287	44,445	258	44,703	△1,253	43,450
セグメント利益	334	137	175	646	76	723	△470	252

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△470百万円には、セグメント間取引消去36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△507百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,299	11,345	1,948	43,593	225	43,819	—	43,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	555	139	288	983	42	1,026	△1,026	—
計	30,855	11,485	2,236	44,577	267	44,845	△1,026	43,819
セグメント利益	429	197	155	781	75	857	△451	405

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△451百万円には、セグメント間取引消去62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△514百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。